| / | ユノの四世大学 。 |
|--------------|------------------|
| 牛 | さんの保護者様へ |

北杜市立武川中学校 校 長 鷹野 晃

感染症による出席停止について(お知らせ)

この度,お子様は学校で予防すべき感染症に罹患しましたので,学校保健安全法第19条に基づき,次のとおり出席停止といたします。この処置は,お子様に十分休養を与え回復を早めるとともに,他のお子様への感染を防ぐためのものであり,療養期間中は欠席として扱いません。

お子様への感染を防ぐためのものであり、療養期間中は欠席として扱いません。 なお、再登校の際には、「医師による治癒証明書」を担任までお届けください。御家庭におかれましては、主治医の指示の下、適切な処置をとられますようお願い申し上げます。

1 感染症の種類と出席停止の目安(文部科学省「学校において予防すべき感染症の解説」H25.3による)

| 1 | _ <mark>感染症の種類と出席停止の目安(</mark> 文部科学省「学校において予防すべき感染症の解説」H25.3による) | | | | | | | |
|-----|--|---|--|--|--|--|--|--|
| | 感染症の種類 | 出席停止の期間の目安 | | | | | | |
| 第一 | エボラ出血熱 , クリミア・コンゴ出血熱 , 南米出血熱 , ペスト , マールブルグ病 , ラッサ熱 , 急性灰白髄炎 | | | | | | | |
| 種 | (ポリオ), ジフテリア, 重症急性呼吸器症候群(病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る) 鳥インフ | 治癒するまで | | | | | | |
| | ルエンザ(病原体がA型インフルエンザウイルスで,その血 清亜型がH5N1であるものに限る) | | | | | | | |
| 第二種 | インフルエンザ (第一種 を除く) 百日咳 麻しん (はしか) 流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ) | 発症後5日を経過し、かつ解熱後2日を経過するまで 特有の咳が消失するまで、又は、5日間の適切な抗菌薬療 法が終了するまで 解熱後3日を経過するまで 耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過 | | | | | | |
| | 風しん(三日はしか) 水痘(水ぽうそう) 咽頭結膜熱(プール熱) 結核, 髄膜炎菌性髄膜炎 | し,かつ全身状態が良好になるまで 発疹が消失するまで 全ての発疹が「かさぶた」になるまで 発熱,咽頭炎,結膜炎などの主要症状が消失した後2日を 経過するまで・ 医師において,感染のおそれがないと認められるまで | | | | | | |
| 第三種 | コレラ , 細菌性赤痢 , 腸管出血性大腸菌感染症 , 腸 チフス・パラチフス , 流行性角結膜炎 , 急性出血性結膜 炎 | 医師において , 感染のおそれがないと認められるまで | | | | | | |
| その他 | 感染性胃腸炎, マイコプラズマ感染症, 溶連菌感染症, 伝染性紅斑(りんご病), 手足口病, 伝染性膿痂疹(と びひ), 伝染性軟属種(水いぼ), アタマジラミなど | 必要があるときに、校長が緊急措置として出席停止の指示を 出すものであり、必ず出席停止になるわけではない。 左に挙げたものは、その中の主なものである。 | | | | | | |

| 2 医師に | こよる治療 | ፩証明書 | | | | | | | |
|-----------------------------|----------|-------------|----|-----|----|----|----------|------|---|
| | | | | 切 | り取 | IJ | 線 | | |
| 北杜市立武川中学校校長 様 | | | | | | | | | |
| 医師による治癒証明書 | | | | | | | | | |
| | | | | | | 左 | <u> </u> | 生徒氏名 | |
| 感染症名 | <u> </u> | | | | | | | | |
| 上記の感染症が治癒したので,再登校することを認めます。 | | | | | | | | | |
| 平成 | 年 | 月 | 且_ | 医療機 | 関名 | | | | 印 |
| | | | | 医師氏 | 名 | | | | |